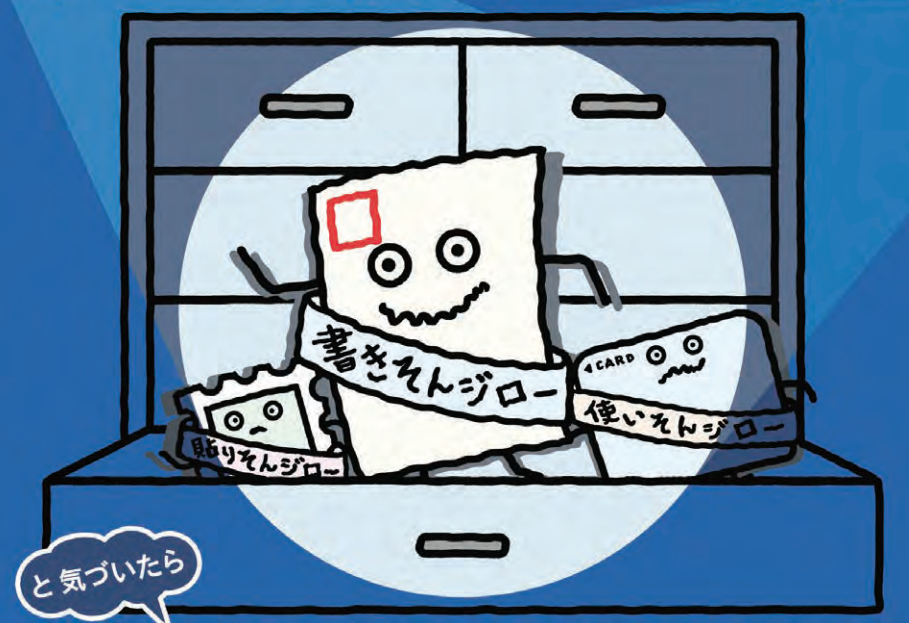


ユネスコ

2024.1
vol. 1179

みーっけ! タンス遺産



世界の学びを救うチャンス!

タンス遺産 3兄弟キャラクター ©DENTSU,INC.

CONTENTS

- 1 特集：書きそんじハガキ・キャンペーン
2024 スタート
- 3 会長新年挨拶
- 4 活動報告
●第79回日本ユネスコ運動全国大会 in 富士吉田
- 5 ユネスコ活動の広場
●ブロック別・ユネスコ活動研究会
- 7 活動報告
●高校生カンボジア・オンラインスタディツアー
●第10回 アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム
教育研修会
- 10 TOPICS
●第10回世界ユネスコ協会クラブ・センター連盟
(WFUCA) 世界大会 in 韓国
- 11 お知らせ・募集
理事会報告

書きそんじハガキ・キャンペーン2024が 始まりました

書きそんじハガキ・キャンペーンは、ハガキなどの「タンス遺産」を集め、途上国で教育支援などを行う世界寺子屋運動の活動資金として活用するしくみであり、1990年から継続して行っています。「タンス遺産」の寄付をはじめとする多くのご支援により、世界寺子屋運動では、これまでに135万人以上に教育の機会を届けることができました。

本キャンペーンでは、書きそんじハガキだけでなく、未使用の切手やプリペイドカード（テレホンカード、クオカード、図書カードなど）、商品券、旅行券、ビール券など、さまざまな「タンス遺産」を受け付けています。年賀状の書きそんじなど、ハガキ1枚からご協力いただけます。

ご自宅から気軽にできる国際協力。皆さまの温かいご支援をお待ちしています。

きょういくで、あしたへいく。

書きそんじハガキ・キャンペーン 2024 スタート



書きそんじハガキ・キャンペーンを通じて集められた「タンス遺産」のご協力は、世界寺子屋運動の活動資金の約4割を占めています。皆さまに感謝を申し上げますとともに、より多くの人びとに教育の機会を届けるため、引き続きご協力をお願いします。(海外事業部)

「タンス遺産」で
実現できること

カンボジアでは、
ハガキ17枚で
ひとりがひと月
寺子屋に通えます



ネパールでは、
ハガキ1枚で
ペンを1本買えます



アフガニスタンでは、
ハガキ1枚で
消しゴムを
1個買えます



書きそんじハガキ・キャンペーン2023のご報告

前回の書きそんじハガキ・キャンペーン2023 (2022年12月～2023年11月) では、「タンス遺産」によるご協力が4239万円相当にのびりました。(2023年10月末時点。ハガキ換算で約85万枚) ユネスコ協会・クラブからの144件をはじめ、学校・団体・個人を含めると合計2030件と、たいへん多くの皆さまにご協力を賜りました。

回収活動の事例紹介



全国の事業場、支社、支店などから集められたハガキ。特例子会社であるNECフレンドリースタッフの社員が仕分け・集計・発送などを行っている

■ NECグループ

NECグループには毎年本キャンペーンにご協力いただき、2023キャンペーンでは2680枚ものハガキをお寄せいただきました。年間を通じて回収しつつ、年に一度、強化期間を設けてグループ全体に収集を呼びかけ、イントラサイトやTeamsなどのSNSを活用して社内に広く周知しているそうです。

「書きそんじハガキ・キャンペーンは、グローバルな社会課題の解決に向けた活動でありながら、社員が身近に参加できる活動です。NECグループの企業市民活動“NEC Make-a-Difference Drive”のスローガン『できることから少しずつ/Think Globally, Act Locally』に通じる取り組みだと考えています。キャンペーンへの参加は、各職場の連帯感やNECグループとしての一体感の醸成にもつながっています。」(NEC担当者)

ユネスコ協会・
クラブによる
「タンス遺産」
回収数ベスト10
(2023年11月5日時点)

1	鹿児島ユネスコ協会(鹿児島県)	6	飯田ユネスコ協会(長野県)
2	四街道ユネスコ協会(千葉県)	7	三重県ユネスコ連絡協議会
3	富山ユネスコ協会(富山県)	8	舞鶴ユネスコ協会(京都府)
4	大分県ユネスコ協会連盟	9	一関ユネスコ協会(岩手県)
5	熊本ユネスコ協会(熊本県)	10	諏訪ユネスコ協会(長野県)

世界寺子屋運動 最新情報

カンボジアおよびネパールでは、2023年度も順調に活動を継続しています。カンボジアでは、幼稚園クラスや小学校クラス、中学校クラス、成人向けの識字クラスなど多様な学びの場を提供しているほか、新しい寺子屋の建設準備を進めています。ネパールでも、幼稚園クラスと小学校クラスの運営を順調に継続しています。

アフガニスタンでは、支援の必要性は高いものの、政府から教育プログラムなどの活動実施許可を得ること

が容易ではない状況のため、粘り強く交渉を続けています。一方で、政変以前に協働していた識字局の要請により、これまで建設した寺子屋の修繕活動などを行っています。

ミャンマーでは、2021年の軍事クーデター以降、国内における活動が難しいことから、今年度はバングラデシュに逃れたミャンマー避難民の支援を実施しています。

学習者の声を紹介します

先生になるという夢を抱いて

サニットさん

カンボジア・
スニョル寺子屋
小学校クラス



近くに寺子屋ができて、小学校を一度やめてしまった自分にも学べるクラスがあると聞きました。寺子屋で学び始めて、読み書きに自信がついたほか、保健や衛生など役に立つことをたくさん学んでいます。自分の住む地域に寺子屋がなければ、読み書きが十分にできないまま大人になったと思います。先生には本当に感謝していて、自分も先生になりたいという夢を持つことができました。



カンボジアの寺子屋では成人を対象とした識字クラスが夜間に開講されている



ネパールの小学校クラス。寺子屋では当連盟のロゴマークがついた通学カバンを全生徒に配布している

書きそんじハガキ・キャンペーン2024にご協力ください

今回のキャンペーンは「みーっけ！タンス遺産」のキャッチコピーで、タンスの中から書きそんじローたち3兄弟が見つかるというキービジュアルです。キャンペーンのCM動画や特設ページをぜひご覧ください。また、回収ボックスやポスター、チラシなど、回収グッズの配布も行っておりますので、活用される場合はお問い合わせください。



▲ポスター



▲チラシ



▲回収ボックス

※回収グッズは在庫がない場合もありますので、お早めにお申し込みください。



回収グッズ
お申し込みフォーム



キャンペーンCM動画 (YouTube)
<https://www.youtube.com/watch?v=kcpOFLOV14Q&t=3s>



キャンペーン特設ホームページ
<https://www.unesco.or.jp/terakoya/kakisonji/>

“草の根”から 平和を求めて

公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟 会長

佐藤 美樹



明けましておめでとうございます。

昨年は、新事業「U-Smile ～みんなでつなぐ子ども応援プログラム」を開始しました。困難な状況に置かれた日本の子どもたちの支援に乗り出したことは、当連盟にとって新たなステージの始まりとなりました。また、コロナ禍が続く中でも少しずつ日常を取り戻し、各事業の再開と、対面での実施が可能になったことで、民間ユネスコ活動に携わる私たちの絆を改めて確認できた年だったと感じます。

一方で、世界全体の「平和」は、現実として非常に厳しい状況にあります。

ロシアによるウクライナ侵攻は収束の兆しが見えず、中東においてもイスラエルとパレスチナの戦闘が激化するなど、世界各地で暴力が蔓延しています。

このように混迷する状況だからこそ、いま一度UNESCO憲章に立ち返り、教育・文化の重要性や平和の要件について深く考える必要があるでしょう。

よりよい世界に向かうためには、互いの尊厳を認め合い、社会課題の解決のために考え行動する人を、ひとりでも増やすことが大切だと考えます。そして、その輪を広げていく担い手となるのは、草の根の立場からユネスコ活動を推進する私たちです。会員の皆さまには、日頃の活動に取り組むとともに広く情報発信に努めていただき、また支援者の皆さまには一層のご理解・ご協力を賜れますと幸いです。

これからも当連盟は、持続可能で平和な社会を目指し、社会課題の解決のため、時代に即した取り組みを進めてまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

第79回日本ユネスコ運動全国大会 in 富士吉田

主催：日本ユネスコ協会連盟
山梨県ユネスコ連絡協議会
主管：山梨市ユネスコ協会

2023年9月9日(土)、「ユネスコを楽しもう さあ～みんなでGO!～若い力を育む 富士の国からこんにちへ」をテーマに、第79回全国大会を開催しました。今大会は、富士山が「富士山－信仰の対象と芸術の源泉」として

UNESCO世界文化遺産に登録されて10年を迎えたことを記念し、富士山の麓にある山梨県富士吉田市での開催となりました。当日は全国からユネスコ協会・クラブ会員が集まり、一般参加も含め約400名が参加しました。(企画広報部)

記念講演

「富士山と浮世絵～お江戸にタイムスリップ、デジタル化が明かした江戸庶民の文化～」

富士山の世界遺産登録10周年に合わせ、記念講演では、アメリカ・ボストン美術館の浮世絵デジタル化プロジェクトの日本側責任者を務めた牧野健太郎氏を迎え、「富士山と浮世絵」をテーマにお話しいただきました。

浮世絵は、江戸時代に葛飾北斎や歌川広重、歌川国芳などを始め、多くの絵師によって描かれ、いまや世界中から愛される代表的な日本文化です。牧野氏がけん引した浮世絵のデジタル化により、それまで肉眼ではよく見えなかった細かな描写が明らかとなり、生き生きとした人びとの生活ぶりや絵師たちの卓越した技術が、より鮮やかに現代によみがえりました。

講演では、富士山を描いたものから江戸城下の町を描いたものまで、細部をクローズアップして人情豊かな江戸庶民の様子が紹介されました。牧野氏の著書『浮世絵の解剖図鑑』でも詳しく紹介されていますので、関心のある方はぜひご覧ください。



大名行列の様子を描いた「東海道五拾三次之内 日本橋 朝之景」(歌川広重)一部抜粋。西国へ向かう行列の先頭と、橋の南側には魚屋や八百屋の人びとなど早朝の江戸の日常が描かれている

●Profile 牧野 健太郎 1956年、福井県生まれ。日本ユネスコ協会連盟評議員、NHKプロモーション・プロデューサー、東横イン文化担当役員などを歴任。

パネルディスカッション 「ユネスコの今と未来

私たちはこう考える」

■パネリスト 日本航空高校3年 小原野乃さん
山梨県立青洲高校2年 井上朱莉さん
北杜市立甲陵高校2年 上原愛広さん
愛媛県立松山東高校2年 兼頭玄さん

■コーディネーター 望月浩明氏
(かながわユネスコスクールネットワーク事務局長、
日本ユネスコ協会連盟評議員)

山梨県と愛媛県から、高校のユネスコ部などに所属する生徒4名をパネリストに迎え、パネルディスカッションを行いました。

冒頭、パネリストの一人である兼頭^{かねとう}さんが、海が身近な生い立ちから環境問題について考え清掃活動のイベントを主催・企画した経験や、国連への訪問経験をもとに、「皆がハッピーな世界」を実現することへの思いを語ってくれました。他の高校生からは「自分も何か挑戦するとき、まわりを巻き込んで実行したい」という感想が寄せられました。

その後、3つのテーマで高校生たちが意見を交換。テーマのひとつ「平和について考えるーウクライナ、ロシアの戦

いから」では、日本へ逃れてきた避難民と交流がある学校の高校生が「ウクライナの人びとは、平和な毎日を送っている私たち日本人より笑顔で過ごしていて、逆に元気をもらっていると感じる」と述べました。コーディネーターから「UNESCO憲章にある、“平和のとりで”を築くためには？」と質問された高校生たちは「歴史や戦地の状況を知ること、選挙に行き平和への意思表示をすることが大切」「世界中に友だちをつくる。ニュースは国の利害関係が反映されるから、一人の人間、一人の友人として相手を尊重すべき」などと応えました。

一方で、4人は学校のユネスコ部などでボランティア活動に取り組んでいるにもかかわらず、地域のユネスコ協会・クラブの存在を知らないとのこと。情報がほしい若者と、若者にも参加してほしいユネスコ協会・クラブがつながるにはどうしたらよいか、課題が共有されました。

次回開催地は愛媛県

2024年度の「第80回日本ユネスコ運動全国大会 in 新居浜」は、2024年11月23日(土)に新居浜市で開催します。

ユネスコ活動の広場

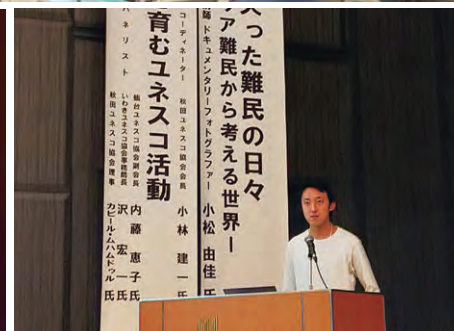
ブロック別・ユネスコ活動研究会

各地域で学び合い、連携を強化

全国のユネスコ協会・クラブは9つのブロックに分かれており、毎年それぞれ地域の特性を生かしながらブロック別・ユネスコ活動研究会(以下、ブロ研)を開催しています。

今年度は、いずれのブロックでも感染症対策をしながら対面で開催することができました。ブロック内のユネスコ協会・クラブ間の連携、地域との連携を強化するとともに、それぞれのテーマについて学び合い、ユネスコ活動のさらなる活性化を目指して各地で活発な意見交換がなされました。また、日本ユネスコ国内委員会委員、青年評議員、当連盟からそれぞれ報告を行い、地域の枠を越えたユネスコ運動の動きについて情報共有の機会にもなりました。

以下、全国大会併催ブロック(中部東)以外の8つのブロ研の成果を報告します。(組織部)



(上) 日本ユネスコ国内委員会委員は、同委員会やUNESCOの最新情報を報告。

中国ブロ研で発表する鈴木昌徳委員(津山ユネスコ協会)

(左下) 当連盟は、役員や職員が新規事業や事業の進捗を報告。

中部西ブロ研で講演する鈴木佑司理事長

(右下) 青年評議員は、青年の活動事例の共有、青年活動への協力の呼びかけなどを行った。

東北ブロ研で発表する中谷祐太評議員(仙台ユネスコ協会)

北海道 ブロック

ブロック内協会数：20／主管：千歳ユネスコ協会
開催日：10月21日(土)
開催地：ANAクラウンプラザホテル千歳(北海道千歳市)

約130人が参加。基調講演では、公立千歳科学技術大学の曾我聡起教授と千歳市の直江康雄係長が、千歳市の遺跡と埋蔵文化財の魅力について、ドローンやAR*を使った映像などで紹介。また、市内のユネスコスクールが、多文化理解などについて、日頃の活動内容を発表しました。

来年度は北海道北広島市で2024年10月19日(土)に開催予定。



千歳市立末広小学校はアイヌの民族衣装を着て共生社会の実現について発表した

*AR:拡張現実
(Augmented Reality)

東北 ブロック

ブロック内協会数：45／主管：秋田ユネスコ協会
開催日：10月14日(土)
開催地：ホテルメトロポリタン秋田(秋田県秋田市)

約110人が参加。2012年よりシリア内戦・難民取材してきた写真家の小松由佳氏が、イスラエル・ガザ地区での紛争を危惧しつつ、シリア難民から考える世界について文化の違いに触れながら講演しました。また、各ユネスコ協会・クラブの会員は「平和の心を育むユネスコ活動」についてパネルディスカッションを行いました。

来年度は山形県酒田市で2024年10月5日(土)に開催予定。



オープニングで披露した港ばやし。秋田市土崎のお囃子で、ユネスコ無形文化遺産・国指定重要民俗文化財に登録されている

関東 ブロック

ブロック内協会数：70／主管：東京都ユネスコ連絡協議会
開催日：9月3日(日)
開催地：青山学院大学(東京都渋谷区)

約 450 人の参加者が集う、活気ある研究会となりました。大学生を中心とした青年活動研究会、ファッションデザイナーのコシノジュンコ氏による特別講演、3つの分科会(異文化理解・国際交流、世界遺産・未来遺産、科学環境・ユネスコスクール)と充実した内容で、参加者間の交流も盛んに行われました。

来年度は茨城県土浦市で 2024 年 10 月 12 日(土)に開催予定。



青年活動研究会では多くの大学生が参加し、グループごとに活発な議論を交わした

中部西 ブロック

ブロック内協会数：21／主管：三重県ユネスコ連絡協議会
開催日：10月7日(土)
開催地：津市公共施設アストホール(三重県津市)

約 110 人が参加。UNESCO の諮問機関であるイコモスの日本の委員長を務めた経験を持ち、当連盟の未来遺産委員会の委員長でもある西村幸夫氏が講演を行いました。世界遺産条約の特色や、西欧文化中心だった中で、アジア圏の国として木の文化の価値を新たに提示した日本の貢献について語りました。また、学校や他団体との連携について事例発表があり、会場の参加者からも自分の地域の課題について発言がありました。

来年度は富山県富山市で 2024 年 10 月 19 日(土)に開催予定。



参加者全員で記念撮影

近畿 ブロック

ブロック内協会数：42／主管：飛鳥・橿原ユネスコ協会
開催日：11月12日(日)
開催地：かしはら万葉ホール(奈良県橿原市)

約 210 人が参加。今回のブロック研究会は「次世代につなげ“未来のためからの”」をテーマに開催しました。文化遺産保護の第一人者である西藤清秀氏が、紛争地域での保護の難しさ、文化遺産の継承に航空レーザー計測などの最新技術が活用されていることについて基調講演を行いました。また、長浜ユネスコ協会、舞鶴ユネスコ協会、伊都・高野山ユネスコ協会が、それぞれ実施している平和活動について報告しました。

来年度は和歌山県伊都郡高野町で 2024 年 10 月に開催予定。



主管の飛鳥・橿原ユネスコ協会が活動発表で紹介した移動図書館「絵の本ひろば」が会場ロビーに展示された。段ボール製の面展台に本を並べると、本の広場が完成する

中国 ブロック

ブロック内協会数：27／主管：岩国ユネスコ協会
開催日：6月24日(土)
開催地：岩国市民文化会館(山口県岩国市)

約 90 人が参加。困窮状態におかれた子どもの支援をテーマに、子ども食堂の研究をしている広島大学の由井義通教授による講演、元当事者で現在は支援活動に取り組む藤川浩之、安永亮太郎両氏の講演後、参加者はグループに分かれて、ユネスコ協会にはどのような支援活動ができるかディスカッションを行いました。

来年度は広島県東広島市で 2024 年 9 月 21 日(土)に開催予定。



ヤングケアラーの会代表の安永氏は、自らの体験と現在の活動について講演。困窮状態にいる子どもたちの実情を知る貴重な機会となった

四国 ブロック

ブロック内協会数：12／主管：四国中央ユネスコ協会
開催日：9月3日(日)
開催地：四国中央市川之江ふれあい交流センター(愛媛県四国中央市)

約 100 人が参加。愛媛大学紙産業イノベーションセンターの内村浩美センター長が、四国中央市の主要産業である紙産業が今後どのように生き残れるかをテーマに講演したほか、「手すき和紙職人や原料道具を守り育てていくことの重要性」や「紙のまちの先人たち」について発表・講演がありました。

来年度は全国大会 in 新居浜の併催として、愛媛県新居浜市で 2024 年 11 月 23 日(土)に開催予定。



紙の伝統工芸水引細工を体験するワークショップも好評だった

九州 ブロック

ブロック内協会数：13／主管：佐賀ユネスコ協会
開催日：11月11日(土)
開催地：佐賀商工ビル(佐賀県佐賀市)

約 40 人が参加。佐賀市内で活動する NPO・地球市民の会の岩永清邦事務局長が、ウクライナ避難民の受け入れの実情と地域における行政や国際団体などとの連携について基調講演を行いました。続いて、佐賀 SDGs 官民連携円卓フォーラムの大野博之幹事長が本プロ研のテーマであるユネスコ活動の存続について講演し、会員同士でワークショップを行いました。

来年度は大分県大分市で 2024 年 10 月 26 日(土)に開催予定。



ユネスコ協会運営の課題をテーマに参加協会で報告と意見交換を行った

※ブロック内協会数は 2023 年 11 月 30 日現在の数です。

高校生カンボジア オンラインスタディツアー

2023年8月19日(土)・20日(日)にZoomで開催した本ツアーは、日本の高校生が、現地に暮らす人びととのオンラインでの交流を通して、主に教育・国際協力の観点からカンボジアが抱える諸課題を学び、国際理解を深めることを目的としています。さらに、参加者自らが、国際社会の一員であるという自覚と、カンボジアの人びととのパートナーシップの精神を育み、学んだことをアクションに移し、その取り組みを学校外にも発信することを目指します。(学校支援部)

共 催：公益財団法人かめのり財団
参 加 校：立教女学院高等学校
富山国際大学附属高等学校
徳島文理高等学校
参加人数：18人

ツアー 1日目

かめのり財団 ワークショップ

ツアーの冒頭、アイスブレイクとして、「お互いを知る」ことを主なテーマに、高校生の間でグループディスカッションを行いました。



それぞれの学校自慢や好きな教科、趣味の話題で大いに盛り上がりしました。



ポペル寺子屋 との中継

小学校クラスの授業を見学しました。識字だけでなく、日常生活に役立つ知識についても学んでいることがわかりました。高校生からは、「将来の夢は?」「寺子屋は楽しい?」「好きな食べものは何?」といった質問が出ました。寺子屋の先生が、「先生になるまでに苦労したことは?」という質問に対し、生活が苦しかった幼少期を思い出しながら涙する一幕もありました。

寺子屋 学習者の自宅訪問

1日目の最後に寺子屋学習者の自宅を訪問しました。高床式の家屋の階段は縁起をかついだ奇数になっているなど、カンボジアの風習がうかがえました。インタビューでは、学習者である子どもたちから「毎日勉強する道具がほしい」「寺子屋に行くときが一番楽しい」といった声があり、彼らにとって寺子屋の時間がいかに大切か再認識しました。

参加した高校生の感想①

- ・働いていて学校に行けない子どもたちがいることは知っていたけれど、実際に交流していろいろお話を聞いていると、より身近な問題に感じられた。
- ・実際に子どもたちの目を見て、直接言葉を聞くと、ネットなどで見るときと全く違う感情になった。

ツアー
2日目ブッタ所長
との交流

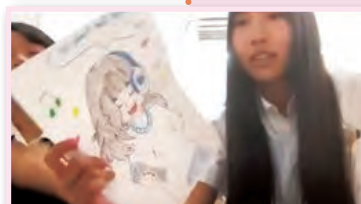
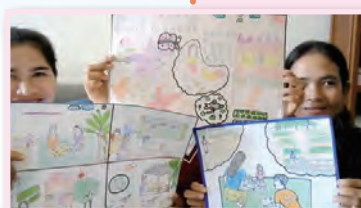
カンボジア事務所のブッタ所長から、カンボジアの教育の現状や、寺子屋の大切さについて説明を受けました。高校生からは、ポル・ポト時代のことや、寺子屋の意義について質問が出ました。ブッタ所長の「教育こそが貧困の連鎖を断ち切る鍵である」という言葉に、寺子屋に対する熱い思いが表れていました。



YouTube でスタディツアーの様子を公開しています。ぜひご覧ください。

寺子屋の
先生・学習者の方との
交流

「私の好きな時間」「理想の学校 / 寺子屋」をテーマに、絵を用いた交流を行いました。「歌を聴いている時間が好き」と話す日本の高校生に対して、カンボジアの参加者から「歌ってほしい♪」という突然のリクエストがあり、高校生が応えるシーンも。言葉は通じなくても、お互いのことを知りたい、相手の話を理解したいという気持ちが国境を越えた瞬間でした。



参加した高校生の感想②

- ・英語や地理の教科書で写真はたくさん見ることができるけれど、写真の奥には行けない。実際を見なければわからない。
- ・自分たちにできる寄付や活動は何なのか、よく考えたいと思った。

Innovating Energy Technology

エネルギー技術を、究める。

電気、熱エネルギー技術の革新の追求により、
エネルギーを最も効率的に利用できる製品を創り出し、
安全・安心で持続可能な社会の実現に貢献します。

FE 富士電機

富士電機株式会社 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2(ゲートシティ大崎イーストタワー) TEL.03-5435-7111

アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム

教員研修会

2023年9月21日(木)～23日(土)の3日間、助成校の教員30名、ユネスコ協会協働校の2名、計32名が一堂に会し、東日本大震災の被災地で教員研修会を行いました。宮城県気仙沼市階上^{はしかみ}地区の学校や震災遺構の視察、現地の児童生徒や先生方との対話を通じ、地域連携の重要性が実感を伴って伝えられました。専門家の講義、ワークショップでは先進的な理論と実践を学びました。また、ユース育成の一環で、奈良教育大学ユネスコクラブの学生が当日の運営に参加しました。

(学校支援部)

防災・減災教育の実践を視察

視察先のひとつ気仙沼市立階上小学校では、同地区にある階上中学校の3年生が講師となった防災教室が行われました。小学校の各学年に応じた手づくりの教材(防災かるた・紙芝居・塗り絵・クイズ)を用いた、児童が楽しく



階上中学生による防災かるたの授業

学べる授業でした。「先輩から受け継いだ教材を改善し、自分の言葉で工夫して伝えている」という中学生の話から、震災を風化させず、下の世代に伝承するという強い意志が感じられました。

小学校4年生の児童は、自ら作成した防災マップの実践発表を行い、階上中学生をはじめ自治会、行政関係者など地域住民から、よかった点や改善点などの助言を受けました。単に危険な場所を記した防災マップではなく、地域の自慢となるものを併記する工夫も見られました。「復興により地域が整備されている中、町づくりの視点に立った防災マップの作成が今後につながると考

えている」という指導教員の話は、自校で防災マップの作成に取り組む参加教員たちにとって、新しい視点となりました。



階上小学校児童による防災マップの実践発表。多くの地域住民が参加し、発表後は改善点などを助言した



階上中学校を訪問。生徒の実践発表後、参加者とのディスカッションが行われた

プログラム10年目の新しい試み・ユネスコ協会協働校

今年度の募集で新設したユネスコ協会協働校では、奈良ユネスコ協会(奈良県)、大牟田地方ユネスコ協会(福岡県)が、それぞれ助成校でもある地域の学校の教員とともに参加しました。

2つのユネスコ協会は、学校と協働し地域ぐるみの防災・減災教育を推進する役割を担います。

【奈良ユネスコ協会の声】

本研修会では、学校と地域や外部団体との連携が重要であることを学びました。地域に根ざしたユネスコ協会が学校の学習プログラムに関わることは意義があると思います。

【大牟田地方ユネスコ協会の声】

地元の助成校と一緒に研修に参加でき、現地で学んだことを随時振り返りながら今後の共同プロジェクトについて相談できました。早速、今回の学びを生かして、当協会主催のESD/SDGsイベントと一緒に防災・減災クイズを行いました。

教員研修会

- 【協力】アクサ生命保険株式会社、奈良教育大学ESD・SDGsセンター、認定特定非営利活動法人SEEDS Asia
- 【プログラム・コーディネーター・講師】及川 幸彦 先生(奈良教育大学ESD・SDGsセンター 副センター長、奈良教育大学 准教授)
- 【講師・ファシリテーター】上田 和孝 先生
(新潟大学工学部附属工学力教育センター 准教授、認定特定非営利活動法人SEEDS Asia アドバイザー)

- 【ファシリテーター】大津山 光子 氏
(認定特定非営利活動法人SEEDS Asia 事務局長)

- 【研修共催】気仙沼市教育委員会
- 【研修協力】気仙沼市立階上小学校、気仙沼市立階上中学校、宮城県多賀城高等学校

- 【後援】文部科学省、日本ユネスコ国内委員会

第10回 世界ユネスコ協会クラブ・センター連盟 (WFUCA) 世界大会 in 韓国

2023年10月27日(金)・28日(土)、標記世界大会が韓国のソウルで開催されました。4年に1度各国の民間のユネスコ連盟が一堂に会する会議ですが、新型コロナウイルス拡大による度重なる中止や延期を経て、実に8年ぶりの開催となりました。今大会には26カ国から87人が参加しました。

大会当日は、WFUCA事務局からの活動報告や財務会計報告をはじめ、アジア太平洋、ヨーロッパ・北米、アラブ、アフリカおよびラテンアメリカ・カリブという5地域の地域連盟代表が活動報告を行いました。アジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟(AFUCA)からは当連盟の鈴木佑司理事長(AFUCA事務局長兼任)が、コロナ禍でのオンライン役員会議の開催や、「三菱アジア子ども絵日記フェスタ」、カザフスタンでの絵画コンクールの実施などについて報告しました。

今回は、新会長や新副会長などを決める役員選挙も行われました(選挙委員会委員長は鈴木理事長)。会長には、2名の立候補者の中からボラット・アクチュラコフ氏(カザフスタン連盟会長・前アジア連盟会長)が選出され、そのほか各地域から副会長5名と理事が選ばれました。



新会長となったアクチュラコフ氏

現在の世界情勢を鑑み、当連盟の前理事長である野口昇顧問(WFUCAアドバイザー)を中心としたメンバーが「Appeal for Global Peace (世界平和のためのアピール)」を英語とフランス語で起草し、会議での議論と修正を経て採択されました。



WFUCA世界大会の参加者



ルーマニア連盟から、「ユネスコ協会・ウクライナ緊急募金」の支援を受けた子どもたちが描いたお礼の絵が贈られた。右はルーマニア連盟のダニエラ会長

今後は、当連盟がルーマニア連盟と行ったウクライナ支援のように、WFUCAのネットワークを活用した平和構築のための活動が各地域で行われることが期待されます。

(海外事業部)

Pick UP !

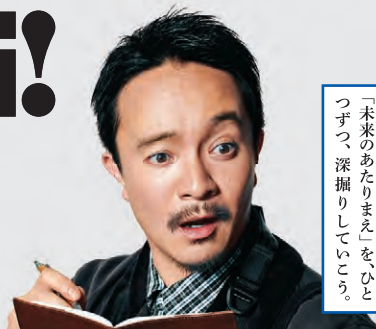


AFUCAの新会長
Lee Sunjoo 氏

2023年4月2日には、AFUCAの執行委員会がカザフスタンで開催され、8カ国が現地で、4カ国がオンラインで参加しました。役員の改選が行われ、会長には韓国のLee Sunjoo氏が選出されました。また、日本は再度事務局に任命されました。

DNPの一面!

DNPがつくる
未来の
あたりまえとは!?



常識は日々アップデートされていく。ここは、多彩な技術と視点をもつ人々が出会い、混ざり、掛け合わせりながら、まだ見たことのない新しい未来を自ら描きだす場所。その名前はDNP。ときには、分野や企業の垣根を越えて、人々の身近にあたりまえに存在する欠かせない価値を生みだし続けている。さあ、DNPがつくる次の「未来のあたりまえ」を、ひとつずつ、深掘りしていこう。

未来のあたりまえをつくる。

DNP

DNPの一面



大日本印刷

お知らせ

「第48回みどりの絵コンクール」 日本ユネスコ協会連盟賞決定

自然に親しみ、自然の美しさや大切さを知ってもらうことを趣旨として、三菱UFJ環境財団との共催で毎年開催している絵画コンクール。2023年は日本全国の幼児、小学生から寄せられた2万4537作品から、最優秀賞9点、優秀賞32点、入選354点を選出。写真は「わたしが守りたい身近な自然」部門で最優秀賞を受賞し、日本ユネスコ協会連盟賞に選ばれた作品です。



「視界をうめつくす桜」山東 陽茉莉さん
奈良県奈良市立左京小学校6年

「買取大吉モノ募金」で買取金額を 寄付できます

「買取大吉モノ募金」は全国に700店舗展開する買取専門店、買取大吉が運営する寄付専用サービスで、ブランド品などの買取金額を寄付できます。インターネットで申し込める出張買取ですので、自宅にいながら気軽にご利用いただけます。詳細、お申し込みは下記URLまたはQRコードから。

<https://www.unesco.or.jp/newsitem/20239/>

※当連盟への寄付は寄付金控除の対象です。

※買取対象：ブランド品、貴金属、時計・宝石、カメラ、スマホ・タブレット、食器・楽器・衣類、金券など



協力のもと、SDGs達成に向けて、「持続可能な開発のための教育（ESD）」を実践するユネスコスクールを対象に、今年度も活動費用の助成を行います。

申し込み締切：

2024年1月10日（水）正午

<https://www.unesco.or.jp/newsitem/21202/>



募集

「第15期ユネスコスクールSDGs アシストプロジェクト」助成校募集

当連盟は、ユネスコスクールサポーターズの一員として、株式会社三菱UFJ銀行のご



理事会報告

■第560回理事会

2023年11月11日（土）、オンラインにより開催した。

I. 決議事項

1. 災害子ども教育支援事業 運営委員の交代について

⇒ 審議の結果、原案どおり決議された。

II. 協議事項

1. 部会等からの報告・提案事項等
 - (1) 組織部会
 - (2) 財務部会
 - (3) U-Smile 部会
2. ユネスコ・アジア文化センターとの合併検討について
3. 会員種別代表理事・評議員の定数の見直し（増員）について

⇒ 協議の結果、いずれも承認された。

III. 報告事項

1. 担当理事からの報告
（学校関連・災害復興支援）安田理事
2. 青年理事報告
3. 2023年度 中間決算
4. 2023年度 事業進捗報告等
5. 情報セキュリティ監査報告
6. 代表理事の職務執行状況報告
（2023年9月16日～11月10日）
7. 後援・共催事業
8. 日本ユネスコ国内委員会関係報告



世界遺産

毎週日曜日午後6時よりTBS系列で放送中

1月～3月 ラインナップ

- 1月 7日 日本の聖地の四季（日本各地）
- 1月14日 オリンピック国立公園（アメリカ）
- 1月21日 中国南部カルスト（中国）
- 1月28日 ミストラ遺跡（ギリシャ）
- 2月 4日 大航海時代の世界遺産（各国）
- 2月11日 パラチーとグランデ島 文化と生物多様性（ブラジル）
- 2月18日 クジラの谷（エジプト）
- 2月25日 【8K編】イビサ島の生物多様性と歴史地区（スペイン）
- 3月 3日 放送休止
- 3月10日 マダガスカルの世界遺産（マダガスカル共和国）
- 3月17日 フェラーラとポー川デルタ（イタリア）
- 3月24日 ヨーロッパのグレート・スバタウン（欧州各国）
- 3月31日 放送休止

放送予定は変更される事もありますのでご了承ください。

<https://www.tbs.co.jp/heritage/>

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟は、UNESCO憲章の精神に共鳴した人びとによって1947年、世界にさきがけ仙台で始まった、民間ユネスコ運動の日本における連合体です。現在全国に約270のユネスコ協会・クラブがあります。会長：佐藤美樹 副会長：大津和子・見上一幸 理事長：鈴木佑司